

# 作業員輸送船(CTV)の安全設計ガイドライン

- 作業船の需要拡大が見込まれており、中でも、作業員の輸送に用いられる CTV (Crew Transfer Vessel)は、**現在 9 隻が国内で稼働中だが、2030年に約50隻、2040年に約200隻必要**となる想定。
- これまでのCTVは、**欧州の海域に合わせた設計で主に建造**されており、**うねりの影響**が大きい**日本周辺海域**では、欧州に比べ**出航できない日が多くなる可能性あり**。
- 日本の海域に合わせたCTVを建造することにより、**洋上風力発電の建造・維持管理の効率向上に寄与**。CTVの国産化に向け、国内の中小造船所でもCTVを建造できる環境を整備するため、**日本の海域に合わせたCTVの設計上の留意事項を記載したガイドラインを策定**。

## ガイドライン概要

### 性能編

CTVに求められる**速力**、**気象海象を踏まえた耐航性**、**安全性に配慮した接舷性能**について記載。

### 設備・機器編

推進プラントの冗長性や船首防舷材に求められる**性能**といったCTV特有の使用方法等を踏まえた**設備・機器要件**を記載。

### 設計・構造編

洋上風力発電施設への接舷や高速航行といったCTV特有の**使用方法を考慮した船体強度等の設計・構造要件**を記載。

### 参考資料：船用機器企業 一覧表

CTVに搭載可能な船用機器を製造する国内企業名、連絡先、HP URLを一覧にして記載。



洋上風力発電施設への接舷の様子  
(出典：東京汽船(株)HP)